実践をつなぐヒント集
研究部だより
CONNECT 実践共有編
Creating a Fun School Where Everyone Thrives!
子どもも大人もいきいきと活躍する楽しい学校づくり
2025.12
VOL.5

初めての異動で、市町村や学校間の事務手続きの違いを感じました。特に、初任校では校務支援システムで一元管理していた学校預り金事務が、異動先ではエクセル管理であることや、複数の金融機関と直接やりとりしなければならないことに負担を感じました。これに加え他の課題も見えてきたため、課題解決のために今回の実践を行いました。

今回の実践　学校預り金集金回数の削減と集金計画の見直し

改善前の状況と課題

▲保護者が引き落とし口座に指定できる金融機関が６つあり、それぞれ振替依頼の方法が異なっていたため、毎月の処理に時間がかかり負担だった。（紙、フロッピーディスク、インターネット）

▲一部の金融機関から振替手数料の値上げの連絡が入り、今後、他の金融機関も振替手数料の値上げが予想され、保護者負担増が懸念された。

▲教材費については、年間必要額を10ヶ月で均等割りしており毎月の集金額が少額であるため、年度当初の支払いに充てるには足りていなかった。

■給食費が公会計化されているため、学校で給食費の集金は行っていなかった。

課題解決に向けて

まず、共同実施で行っていた「財務の取組」の活動の中で相談し、改善案を作成しました。それをもとに教頭先生と検討し、教頭先生からの「急に大きな変更を行うと保護者から理解が得られないかもしれないから慎重に行っていこう」というアドバイスを受けて、以下の内容で企画委員会に提案しました。その後の流れは下図のとおりです。

【提案内容】

■集金回数を10回から７回に減らす

■教材費を５月分のみ増額し、ＰＴＡ会費を５月と10月の２回集金にする

1月 **校内企画委員会 提案** → 2月 **ＰＴＡ役員会 提案** → 3月 **保護者説明会 説明**

各会では肯定的意見が多く、提案内容どおりに改善を行うことができた。
保護者からは「手数料を払いたくなかったため、回数が少なくなるのはありがたい」との声があった。

改善内容と効果

改善前	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	合計
教材費	1,800	1,800	1,800	1,800	1,800	1,800	1,800	1,800	1,800	2,421	18,621
積立費	2,200	2,200	2,200	2,200	2,200	2,200	2,200	2,200	2,200	2,200	22,000
PTA会費（長子のみ）	310	310	310	310	310	310	310	310	310	310	3,100
合計	4,310	4,310	4,310	4,310	4,310	4,310	4,310	4,310	4,310	4,931	43,721

改善後	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	合計
教材費	5,000	2,400	2,400	2,400	2,400	2,400	0	0	0	1,621	18,621
積立費	0	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000	0	0	0	2,000	22,000
PTA会費（長子のみ）	1,550	0	0	0	0	1,550	0	0	0	0	3,100
合計	6,550	6,400	6,400	6,400	6,400	7,950	0	0	0	3,621	43,721

◎集金月を５～２月の10回集金から５～10月と２月集金の７回集金とした。

⇒３か月分の集金作業がなくなり事務負担を軽減することができた。

⇒振替を行わない期間に未納分の督促に専念することができ、年度末の会計処理が滞りなく行えた。

⇒振替手数料の保護者負担が軽減した（最大55円×３か月分＝155円減）。

⇒月の負担額が増えたため、振替不能者が増えることも予想されたが、改善前と変化はなかった。

◎教材費を毎月同じ金額から５月のみ全学年定額（5,000円）とし、ＰＴＡ会費を10回の集金から５月と10月の２回集金とした。

⇒教材や物品の支払いが速やかに行えた。

⇒年度当初の支払いをまとめて行うことができるようになったため、会計担当者の負担が軽減した。

⇒各月の振分を行う会計の数が減ったため、振分と確認作業の負担が軽減した。

今回の実践を振り返って

異動時に市町村間での預り金集金のシステムの違いに戸惑い、集金業務に負担を感じたことで、今回の課題に向き合うことにしました。全ての課題解決には至りませんでしたが、年間を通しての事務負担を軽減するなどの成果を得ることができました。また、初めて周りを巻き込んだ実践を行い、人に共感してもらえる提案を作る難しさを感じましたが、教頭先生や周りの人の力を借り、理解を得ながら進めることができました。まだ課題は残っていますが、今後の事務職員としての大きな一歩につながったと感じています。

CONNECT FEEDBACK

みんなの声を集めました！

感想や質問をお寄せいただきありがとうございました。皆様からのフィードバックは、実践者の大きな励みとなり、次の挑戦への原動力となっています。また、他者の視点や意見を知ることは、新たな気づきや学びにつながります。お寄せいただいた声を共有しますので、さらなる学びのきっかけとして、ぜひご覧ください。

今回は **学校預り金集金回数の削減と集金計画の見直し** の感想や質問をまとめました

感想ピックアップ　お寄せいただいた感想をご紹介します

■来年度、集金回数を減らす予定なので参考になりました。高学年は月１万円超え（６割は給食費）なので、保護者負担を考えると大きな変更は難しいなと感じています。給食費が公会計化されている市町村は学校の集金額が少ないので、回数の変更もしやすいのかなと思いました。

■５月分を増額することで、業者への支払いを速やかに行うことができ適切な会計処理につながると感じました。また、振替を行わない期間を設けることで、未納や会計処理などに専念できるところ、振替を行わない期間を11月～１月にすることで年度末の会計処理が滞りなく進められるところなど新たな発見が多くありました。

■保護者の理解を得るまでの根回しが丁寧で参考になりました。

質問コーナー　質問 ＆ 実践者からの回答

Q1. 月の集金額が上がることに関して、保護者からの問い合わせはありましたか？また、提案を進めていく中で、反対意見はありましたか？

A1. 保護者からの問い合わせや反対意見はありませんでした。①振替手数料の増額、②業者への支払い遅延、③事務業務の負担についてを課題としていましたが、保護者には①②のみ、校内では全てを問題点として説明したことが理解を得られる提案につながったのかなと思いました。

Q2. 振替月の変更に伴い、金融機関との契約変更の手続きはありましたか？

A2. 金融機関に確認したところ、契約変更の手続きはありませんでした。振替のない月の対応については、「対応不要」「事前連絡をする」「請求額０円の口座振替依頼書を提出する」など金融機関によって異なりました。各地域の金融機関や支店によってこの対応とは異なるかもしれません。

実践者コメント　感想・質問をお寄せいただきありがとうございました！

実践を発表する機会がこれまであまりなかったため、非常に貴重な経験となりました。皆様からの声がとてもうれしく、また新たな実践を行いたい！という意欲につながりました。これからも自分にできることから実践を行っていきたいと思いました。

あなたの実践も募集中！

一人の実践はみんなの学びへと繋がっています。引き続き、皆様からの実践提供をお待ちしております。

回答はこちら